

農業機械 まるわかり! vol.3 パワー ショベル

道板なしで、トラックに上る!

ブーム、アーム、バケットを使えば、道板なしでも積み込める。
同じようにして、かなりきつい山道や坂道も上り下りできる!

スタート/



トラックに寄って



腕の力を入れて



足を半分のつけて

ゴール/



のかった



もう一度腕に力を入れて



方向転換



パワーショベルの基本構造。ブーム、アーム、バケットが人間の手のように動く
(岡本央撮影、以下表記のないものすべて)

16歳になったので、
小型特殊の免許を
取得します!

大分・日田市
石橋幸輝(16歳)

日田三隈高校1年。
農業機械や重機
が大好き

幼いころ、動くものにはなんでも興味があった。よくにとって、パワーショベルは憧れの的でした。2本のレバーで、人の手のように機械が動き、人間の何十倍、何百倍の仕事をしてくれます。

す。運転席からみて、ブーム、アーム、バケットと、仕事をする部分が3つに分かれているのですが、その3つの部分をじょうずに使えば、人間以上にきれいな仕事だってできます。

畑の整地、山道の造成と、
大活躍

よくがはじめてパワーショベルに乗ったのは、3歳のときです。コマツ製のPC200という、重さが20tくらいある大きなパワーショベルを使って、父が畑の天地返しをしているときに乗りました。機械が大きいので、運転席からいちばん先端についているバケットまで、すごく遠かったことを覚えてます。

最初はバケットを動かしたり、ブームを上下するくらいでしたが、乗っているうちに、実際に土をすくったり、落としたりすることができるようになりました。

小学生になると、土をトラックに積んだり、かんたんな(畑の)整地をするようになり、中学、高校になるにつれ

